

# JIS

## 浮き床用ロックウール緩衝材

JIS A 6321 : 2023

(RWA/JSA)

令和 5 年 1 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	勝 俣 英 雄	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社大林組)
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	輿 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式 会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	萩 原 伸 治	一般財団法人建材試験センター
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	山 田 剛	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.3.1 改正：令和 5.1.20

官 報 掲 載 日：令和 5.1.20

原 案 作 成 者：ロックウール工業会

(〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-21-13 東洋ビル TEL 03-5835-2569)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	1
5 品質	2
5.1 特性	2
5.2 寸法	2
5.3 外観	3
6 試験方法	3
6.1 試料及び試験片の作製	3
6.2 数値の丸め方	3
6.3 寸法	3
6.4 密度	4
6.5 単位面積当たりの静的ばね定数	4
6.6 単位面積当たりの動的ばね定数及び損失係数	6
6.7 外観	9
7 検査	9
8 製品の呼び方	9
9 表示	9
附属書 A (参考) 正弦波加振法による単位面積当たりの動的ばね定数及び損失係数の測定方法	11
附属書 B (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	13
解 説	17

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、ロックウール工業会（RWA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 6321:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 浮き床用ロックウール緩衝材

## Rock wool isolating material for floating floors

### 1 適用範囲

この規格は、建築物の床衝撃音の防止及び建築設備の機械振動などの防止を目的として浮き床構造<sup>1)</sup>に使用する浮き床用ロックウール緩衝材（以下、ロックウール緩衝材という。）について規定する。

注<sup>1)</sup> 浮き床構造とは、く（躯体）体構造床及び壁と、浮き床との間に、音響的架橋（サウンド・ブリッジ）を生じないように緩衝材を挟み、防振する構造をいう。緩衝材の施工では、2層重ねが一般的である。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0202 断熱用語

JIS A 9504 人造鉱物繊維保温材

JIS B 7507 製品の幾何特性仕様（GPS）—寸法測定機—ノギス

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、JIS A 0202による。

#### 3.1

##### ロックウール緩衝材

バインダを用いてロックウールを成型加工した材料

注釈 1 一般に板状が多い。

### 4 種類

ロックウール緩衝材は、密度によって表 1 の 2 種類に区分する。